

動物の目から環境と人間社会を見る

生命科学部 応用生物科学科

伊藤 元裕 講師 Motohiro Ito



研究概要

動物の生態を詳細に調べ、環境や人間社会との関係を明らかにする

研究シーズの内容

地球上に生息するすべての動物は長い進化の歴史の中で環境に巧みに適応してきました。そんな動物たちは、一度環境変動が起こると、素早く生態や行動を変化させて応答を見せます。そのため、動物を細かく観察し、その生態を調べ上げていくことで、今地球上で起こっている環境変動を迅速に察知し、それが生態系に及ぼす影響を明らかにすることが可能となります。一方で、動物が自然界で生活を営む中で、人間との間に利害の軋轢が発生することも多々あり早急な解決が求められています。

当研究室では、陸域から海洋まで幅広い自然環境をフィールドにして、野生動物の繁殖モニタリングや胃内容物分析、安定同位体分析、超小型動物装着型ロガーを用いたバイオロギング調査など多岐にわたる手法を取り入れ研究に取り組んでいます。

野生動物の調査を通して、動物たちの魅力溢れる巧みな生き様を調べるとともに、そこから得られた結果を、環境問題の影響の将来予測や環境保全、動物と人間社会との軋轢の解消に役立てていくことを目指しています。



研究シーズの応用例・産業界へのアピールポイント

野生生物による農林水産および文化的資源への食害、糞害等の被害状況調査や対策開発について連携可能です。また、自然保護・保全活動、エコツーリズムのための調査や情報提供、一般啓蒙活動も精力的に行っています。

特記事項(関連する発表論文・特許名称・出願番号等)

日本生態学会、日本鳥学会、太平洋海鳥学会、日本バイオロギング研究会